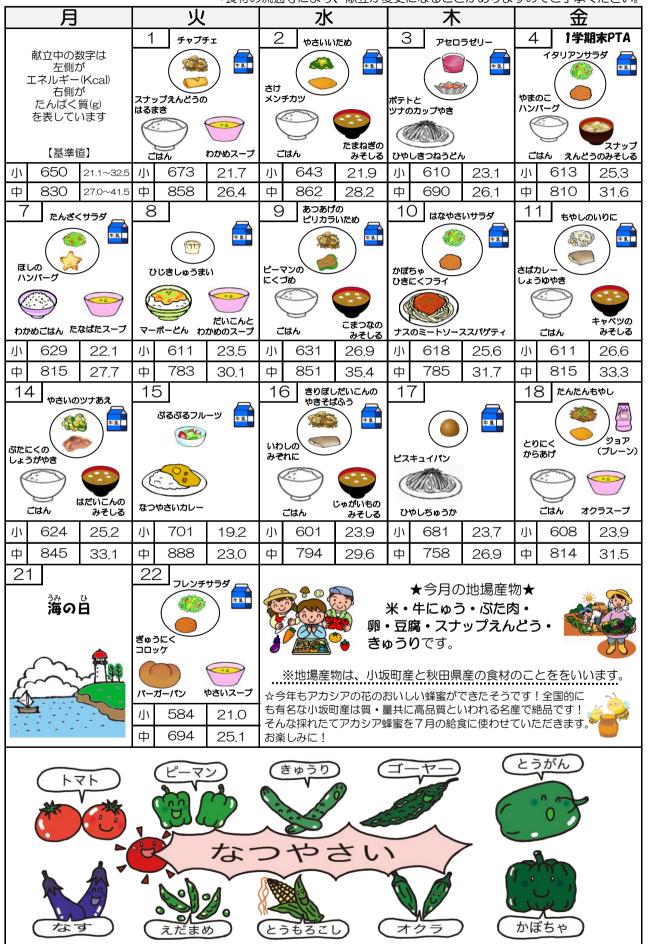
令和7年度

7月分 献立予定表

*食材の流通等により、献立が変更になることがありますのでご了承ください。



7 給食泡点切



だんだんと音差しが強く、気温や湿度も高くなって、じめじめとした季節がやってきました。この時期は熱中症や夏ばてが心配です。熱中症や夏ばての予防のためにも、水分や貧事をしっかりととり、暑い夏を完気にすごしましょう。





のどがかわく前に)水分補給はこまめにしよう!

のどがかわいている詩は、すでに水分が木登しているといわれています。わたし たちは体温が高くなると、洗をかくことで熱を逃がして調節します。水分不足はそ の調節する力を働きにくくしてしまいます。水分は少しずつこまめにとりましょう。

水分補給は何を飲む?

。 普段は**が**や菱茶などにしましょう。 辞を リンクなどの塩分を含むものがよいでしょ う。清涼飲料は糖分が多いので、水のかわ りに飲むと糖分のとりすぎになります。







熱中症とは

気温や湿度が高い時や激しいスポーツにの よって脱水や体温が高い状態になり、体温 を調節する機能が働かなくなることです。 放置すると死に至ることもあります。



熱中症を予防するために、汗をかいた分 はしっかり水労と塩労を補給しましょう。 高温多湿の時や風がない時は無理をせず、 適度に涼しい場所で休憩しましょう。







夏は、そうめんなどのめんだけを食べる機会が、多く なっていませんか? いいできてる、栄養バランスよく食 べることが大切です。

めん類には、卵やハム、野菜などでたんぱく質やビタ ミンなどを補うようにしましょう。

